

福井市で「5G時代における電波の安全性に関する説明会」を開催

総務省北陸総合通信局(局長 蒲生 孝)は、令和3年12月1日(水)、福井市にぎわい交流施設(福井県福井市)において、電波の人体への影響に不安を感じておられる方々などを対象に、5Gを中心とする電波利用の先進技術、電波の安全性や健康への影響などを専門家から分かりやすく解説する説明会を開催し、オンラインを含む36名が参加しました。

説明会では、蒲生局長の主催者挨拶後、以下の2つの講演が行われました。また、講演後には、家電から出る電磁波の影響について心配する声や電磁波防護グッズの効果などについて質問があり、講師から丁寧な説明が行われました。

講演Ⅰ

総務省総合通信基盤局 電波部電波環境課の遠藤 和孝 専門職が、「電波の安全性に関する総務省の取組」と題し、5Gやワイヤレス電力電送(WPT)等の先進的なシステムからテレビ、電子レンジや医療機器に至るまで、電波が利用されている様々な事例とともに、その安全性と電波利用の安全基準である電波防護指針に関する総務省の取組などを紹介しました。



総務省総合通信基盤局 電波部
電波環境課の遠藤 和孝 専門職



蒲生局長による主催者挨拶

講演Ⅱ

一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター 所長の 大久保 千代次 氏が、「電波ばく露の健康影響と電波防護指針」と題して講演しました。「第5世代の携帯電話に使われている高い周波数帯においても電波ばく露に対する安全性は電波防護指針によって十分に確保されているが、電磁波に対する国民の健康リスク認知は、喫煙や飲酒、大気汚染などよりも高い傾向にある。我々は、SNSなどのフェイクニュースに惑わされることなく、信頼できる機関からの情報に基づいて判断することが重要である」との説明がありました。



一般財団法人電気安全環境研究所
電磁界情報センター所長の 大久保 千代次 氏



オンライン配信も行った
説明会会場全景

北陸総合通信局では、引き続き、電波の安全性について正しい知識の普及と理解を深めるための説明会を開催していきます。